

2021年11月22日

有明工業高等専門学校とのマッチングラボ開設について

佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、デジタルトランスフォーメーション（※1）の実現に向けた取り組みの一環として、有明工業高等専門学校（校長 江崎 尚和様、以下、「有明高専」という）とのマッチングラボ「Banking DI（デジタルイノベーション）ラボ」を開設しますので、お知らせいたします。

有明高専とのマッチングラボは、地域企業の研究課題について複数の教員による研究グループと企業研究者の双方が、ラボにおいて一定期間継続的に共同研究を実施し課題解決を図るとともに、卒業研究の一環として学生を積極的に研究に関与させることで、学生の研究力・プレゼンスの向上を目的に設置されたものです。

これまで数社が有明高専とのマッチングラボを開設されており、今回当行専用のラボを開設するものです。

当行は、今後もお客さまの多様化するニーズに幅広くお応えしていくため、音声利活用を想定した音声のデータ解析、また将来的にはマーケティングや業務効率の向上に繋がるデータ解析を行うなど、研究の幅を広げていきたいと考えています。

記

【マッチングラボ概要】



| | |
|-------|---|
| ラボの名称 | Banking DI（デジタルイノベーション）ラボ |
| 研究目的 | 当行は、「顧客接点の刷新と行内業務のさらなる効率化実現、人とデジタルが融合したハイブリッド型ビジネスの早期確立」を目標に掲げています。それに伴い、「デジタルイノベーション（※2）を通じて地域に貢献できるデジタル人財」の確保と育成が急務となっています。 本取り組みは、これを実現させるための基礎研究を産学共同で進め、早期実現、及び実現させるためにキーとなる人財の育成を行うものです。また、デジタル人財の不足という問題に対してマッチングラボを通じて当行のデジタル戦略を学生・教職員・地域の企業や人々に理解してもらうとともに、地場取引企業へのデジタル人財紹介へつなげることを目指します。 |
| 研究内容 | 今後の音声利活用を想定し、「音声から重要と推定されるキーワードの抽出」、「声のトーンから感情分析」等のAIを含めたデータ解析を行います。その研究結果を基に、お客さまとの会話能力（内容・話す力・聞く力等）の向上や聞き漏らしているニーズの発掘につなげてまいります。 |
| 研究期間 | 2021年12月1日（水）～2023年11月30日（木） |
| 開所式 | 場所：有明工業高等専門学校 住所：福岡県大牟田市東萩尾町150 TEL：0944-53-8611 日時：2021年12月16日（木）14時 |

（※1）デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

（※2）デジタルイノベーション（DI=Digital Innovation）

ITと既存社会の要素との組み合わせにより、新たな社会的価値を創造すること。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》
DI本部 担当：陣内（厚）
TEL 0952(37)3607
<https://www.sagabank.co.jp>